

学校法人箕面学園 箕面学園附属幼稚園

平成29年度自己評価結果公表シート

1.本園の教育目標・重点

『健やかな体、豊かな心を持つ子ども』

- ・幼児理解に努め、幼稚園生活を通じて知・徳・体・聖・美のバランスのとれた心身の発達を促す。
- ・安全・安心な環境のもと、体験活動の充実に努め、子どもの生きる力の基礎を培う。
- ・子ども達を真ん中に、家庭・地域・小学校等との連携に努め、豊かな育ちと学びをつなぐ。

2.本年度、重点的に取り組む目標・計画

平成30年度新幼稚園教育要領本格実施と平成31年度幼稚園型認定こども園移行に向け、不易流行を見極めた教育内容の見直しと幼稚園内外に開かれた幼稚園を目指した

3.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
在園児について全教職員がその情報を共有して保育を行う。	週3回の職員会議において、子どもの様子、状況、保護者の願いを伝え合い、課題を整理し、全教職員が情報共有・行動連携ができるよう努めた。
教育の質の向上のために、研修へ積極的に参加する。	日常の職員会議等を活用した研修のみならず、教育委員会主催の研修や民間研修団体の主催する研修会に積極的に参加。また、参加した研修会の内容・成果を、レポートにまとめ教職員間で共有を図った。また、外部講師を招いた授業研究会を学期ごとに実施し、実践的指導力向上にも努めた。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。	個人懇談及びクラス懇談を実施。子どもの様子や園としての考え方を保護者に伝える場となり、また保護者の思い、悩み、喜びなどを知る機会ともなった。保護者同士の意見交換も行われた。 加えて、行事について後援会役員と反省会を定期的に行い連携の実を上げている。

<p>ホームページや園だよりなどを通じて、園の情報発信に努める。</p>	<p>毎週のお知らせ、クラスだより、毎月の園だより等で情報提供に努めている。またメール配信による警報発令時の対応を整備し、日々の連絡にも活用している。またホームページをリニューアルし、行事や日々の子どもたちの様子を公開、また園だよりにも画像をカラー印刷し、その生き生きした姿を伝えることができた。</p>
<p>地域との交流を図り、地域に密着した幼稚園を目指す。</p>	<p>隣接する箕面学園福祉保育専門学校及び箕面学園高等学校との連携が拡大・深化しつつある。</p> <p>その他、箕面市・箕面市教育委員会・警察・消防等関係機関と連携した園活動・各種行事も増加。</p> <p>また、幼稚園行事(運動会・わくわくフェスタ)などの情報を公開し、地域の住民の方の参加をいただいた。しかしながら、園の前面道路への駐車の問題等、課題がある。</p>

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>箕面学園福祉保育専門学校と連携して幼稚園行事を行うだけでなく、子どもの姿を通じた反省会を通じて内実が深まっている。特別支援教育や子ども理解をはじめ取り組むべき課題について、全教職員が積極的に研修に参加し、共通理解を深め、実践し始めている。また、遊具も一新し、施設設備の点検・保守に加え毎月の避難訓練等により安全管理に努めている。</p>

5.今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<p>幼稚園型認定こども園移行準備</p>	<p>平成31年度の移行をめざし、園運営の見直し、教育課程の見直しを図る。またその内容の情報発信にもリニューアルしたホームページ等を活用し努める。</p>
<p>幼稚園施設設備の増築・改修工事と園活動の両立</p>	<p>安全最優先での工事の円滑な進行と園活動の両立のため、保護者にもきめ細かく予定等情報発信を実施し、理解協力をいただけるよう努める。</p>
<p>園に対する保護者の満足度の向上とニーズを把握する。</p>	<p>私学の独自性を十分に発揮しつつ、様々な機会において保護者と十分なコミュニケーションに努める。</p>

6.財務状況

<p>公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。</p>

平成29年度自己評価の振り返り結果

作成：箕面学園附属幼稚園
箕面学園評価委員会

1. 本園の教育目標

「健やかな体、豊かな心を持つ子ども」

2. めざす子ども像

- ・挨拶ができ、ありがとう・ごめんなさいと言える子ども
- ・何事にも挑戦し諦めない、身心ともにたくましい子ども
- ・友だちとつながり、自分を表現できる子ども

3. 教育の重点

- ・ 幼児理解に努め、幼稚園生活を通じて、知・徳・体・聖・美のバランスのとれた心身の発達を促す。(建学の精神)
- ・ 安全・安心な環境のもと、体験活動の充実に努め、子どもの生きる力の基礎を培う。
- ・ 子ども達を真ん中に、家庭・地域・小学校等との連携に努め、豊かな育ちと学びをつなぐ。

4. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

平成30年度新幼稚園教育要領本格実施と平成31年度幼稚園型認定こども園移行に向け、不易流行を見極めた教育内容の見直しと幼稚園内外に開かれた幼稚園をめざした。

具体的には、① めざす子ども像、教育課程の見直し・再確認

- ② 積極的に研修に参加し教育課程の見直し・改善と指導力の向上を図る
- ③ 保護者・関係機関との連携と情報発信・説明の強化
- ④ 個に応じた指導・支援教育の取り組みの充実。

4.重点項目の達成及び取組状況

- ① 研修の成果も活かしながら、指導と評価の一体化を図り、日案・週案・月案・年間指導計画の振り返りを行い、逐一職員会議で再確認し進めた。
- ② 教育委員会主催並びに民間研究団体等主催の各種研修会に積極的に参加。研修成果の共有をレポートの作成・回覧及び職員会議で行う。そのうえで教育課程を論議し、不易と流行を見極め、行事の見直し・精選を図った。
また、外部講師をお招きした授業研究会を学期ごとに実施し実践的な指導力の向上を図った。週3回の職員会議で「全教職員が全園児の担任」たるべく、情報共有を図り行動連携・子ども理解に努め、必要に応じて研修会を持った。

- ③ 後援会とは行事ごとに連携をとり、学期ごとに反省会ももち、毎月のキンダーカウンセラー事業を通じた保護者支援も実施している。

従来、箕面市、箕面市教育委員会とは連絡を取り合っていたが、本園の災害時避難先に指定されている小学校への避難訓練や支援の必要な園児の就学先小学校との連携等具体的な動きとなっている。

さらには、箕面消防本部、箕面警察署と連携した消防訓練や防犯教室も実施し、箕面学園高等学校及び箕面学園福祉保育専門学校との連携も強化された。

このような動きは、随時ホームページを更新し発信している。また、毎週の学級だより、お知らせ及び毎月の園便り等で保護者等に伝え理解を得るよう努めている。

- ④ 研修を重ねながら子ども理解にも努め、箕面市教育委員会等の指導・支援も得ながら、個に応じた指導、支援の必要な園児の教育的ニーズに応えるべく支援教育の取り組みを行った。

5. 在園児保護者からのメッセージ

- ・幼稚園選びの際、何箇所かの幼稚園へ見学に行きましたが、こちらの幼稚園は先生方の笑顔がとても印象的でした。そんな先生方に子どもを預けたいと思い決めました。入園してからは運動会や発表会等行事にも力を入れられているのを感じますし、普段は園庭でのびのび遊んでいる様子も感じられ、子どもも楽しんでいるので入園してよかったです。
- ・入園して良かったと思うのは、先生方がたくさんの愛情をもって全ての子ども達に接して下さっているということです。全ての先生方が全ての子ども達の名前を覚えているのは勿論、子ども達のことを第一に考えて下さり、子ども達も先生がいつでも見守ってくれていると理解しているので、どの子を見てもニコニコ笑顔で幼稚園生活を思う存分楽しめているのだなとわかります。また、それぞれの学年に合わせた目標もあり、子どもたちはその目標に向かって努力し、やればできるのだという自信を持つことができます。
- ・上の子からお世話になり、今年で4年目です。入園間もなく子どもが苦手としている点や理解に難しそうにしている点に気付いてくださり子どもに合った声かけやサポートをしていただきました。家庭と園で情報交換したり、先生同士で情報共有して下さるので、進級時も不安なくお任せし成長を見守ることができました。日頃、園長先生がおっしゃる教育方針にもブレがない軸があり子どもを中心にのびのびした風が吹く箕面学園にしてよかったです。
- ・箕面学園附属幼稚園の良い所は、アレルギー対応がしっかりしていて安心できる場所、バス停の移動などをしていただけたところ、たくさんの先生方が補助につい

て子ども達を見ていただくことで、事故などほとんどないことです。また、毎週のようにクラスだよりがあり、月や週にもお手紙があるので、忘れずに用意ができるので助かります。

- ・年中2学期からの途中入園だったため心配しましたが、のびのびした園生活なので子どもなりにマイペースに慣れていくことができました。運動、学習、工作などバランスのとれた保育のお陰で得意なものは伸ばす、苦手なことも頑張るという基本的だけど一番大事なことを学ばせていただいています。とにかく子ども自身が楽しく毎日通園できていること、それを今何より喜んでいきます。

6. 今後取り組むべき課題

- ① 教職員の指導力向上と研修
- ② 幼稚園型認定こども園移行準備
- ③ 増築・改修工事と園活動の両立
- ④ 園活動及び教育課程の見直しと情報発信
- ⑤ 教職員のライフワークバランスの確保

7. 学校関係者の評価

- ・ 幼稚園が、PDCA サイクルを機能させ、保育の質の向上に向けて継続的に取り組んでいることは大いに評価できます。
- ・ 園長以下教職員一丸となって、教育目標実現に向け努力していることは評価できます。